

しんぶん赤旗 を
お読みください

日刊3,497円／月

日曜版823円／月

申込み 363-1450

民主なかがわ

第175号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
<http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/>

安倍政権は退陣せよ

4月22日夕方、日本共産党中川区委員会は、江上博之市議を先頭に高畑交差点で、安倍内閣退陣を求める宣伝を行いました。

ウミは安倍首相自身

江上博之市議は、財務省事務次官のセクハラ問題、加計学園の獣医学部新設問題、森友学園の8億円値引き問題、自衛隊日報問題、働かせ方大改悪問題を一つ

一つ取り上げ、安倍首相の責任を追及。「改ざん、隠ぺい、ねつ造、すべて安倍首相が発端です。ウミそのものが安倍首相、安倍政権は即刻退陣を！」と強く求めました。

市民と野党の共闘で

続いて月東日本共産党南区地区委員長が、「市民と野党の共闘で、来年7月の参院選で自公与党を少数に

追い込む勢いをつけ、その前の4月名古屋市長議員選挙で日本共産党は江上博之市議を先頭に全力を尽くします。正直な政治、民主主義を取戻しましょう！」と呼びかけました。

退陣に追い込む

中川区委員会は、4月1日、15日の両日曜日夕方高畑で安倍退陣を求め街頭宣伝を行いました。「憲法9条を変えるな」「平和・人権・民主主義生かせ」の3000万人署名にも取り組む、退陣するまで頑張ると江上市議は語っています。

桜満開、各地で花見

4月1日、桜満開の露橋公園で、八幡・露橋・八熊・広見地域の日本共産党後援会のみなさんが花見を行いました。

おしゃべり、歌、楽しく

ギター伴奏で歌を歌ったり、暮らし・政治談議にも花が咲き、一人暮らしの人も会話を楽しんでいました。江上博之市議も参加しました。

江上市議員は、「露橋公園

5月7日から名古屋城天守閣への入場は閉鎖です▼市の説明理由は、天守閣地下一階の石垣調査のため、あるいは、天守閣の耐震性が弱く危険だから。内部の陳列物の今後のあり方も決まらず、2022年天守閣木造化完成まで閉鎖が続く予定▼市民や観光客に、これで現天守の解体、木造化が進むという機運醸成でしょうか▼しかし、5月7日から石垣調査を行う文化庁の許可はありません。市は申請すらまだしていません。ただ入場を禁止することだけが決まっているのです▼木造化建設費、維持費を含め50年間で一千億円を越える大型事業です。入場料で賄うと河村市長は言いますが、今の19.2万人の入場者の2倍近い34.6万人が50年間続くなどそれが信じていることができるでしょうか。赤字となれば税金投入です。ただでさえ財政赤字でくらしの予算が削られているのに、さらにく



5月7日天守閣閉鎖と市議 江上ひろゆき

は、私が中学生のころの約50年前、名古屋市長八幡中学校が元中野町に移転し、跡地を利用して、露橋スポーツセンターとともに設置されました。東側の道沿いの桜は八幡中学校時代からのものです」と説明を交え、市政、国政の話をしました。

3月20日過ぎ開花

毎年多くの花見客が訪れますが、今年は、桜の開花が早く、小学校入学式の4月6日には散り始めていました。



高畑交差点北東角で宣伝するみなさん（マイクを持つ江上市議）

弁護士法律相談5月17日(木)

午後6時半電話363-1450 江上事務所

3000万人署名猛ダッシュ

4月9日、「憲法9条を守り生かそう」と中川憲法改憲反対共同センターに参加するみなさんが地下鉄高畑駅前で「9の日宣伝」を行いました。横断幕、のぼり、プラスターを掲げてビラを配布し、「元氣よくリレー」を配布し、「9の日宣伝」を行いました。



署名5月3日集約

「安倍9条改憲NO！ 憲法生かす」3000万人署名には、高校生や若いサラリーマンも応じていました。

水曜日、午後6時、五女子

「毎週水曜日午後6時五女子」を合言葉に「ちようちんデモ」が続いています。「原発廃止」「再稼働反対」とどまらず、時々のテーマを掲げて沿道に訴えています。



昭恵さん、出番ですよ

4月18日のデモでは、「森友疑惑解明」「昭恵さん出番ですよ」のプラカードも出ました。参加者は10人前後ですが、五女子交差点から八幡本通りを東へ、尾頭橋交差点まで歩いていきます。ちようちんデモは、2011年東日本大震災の翌年8月から有志のみなさんで始まりました。

江上博之市会議員、幹事長に

日本共産党名古屋市会議員団は、今年度の役員を発表し、江上博之市会議員は、幹事長に再任されました。

記者会見で、田口一登団長は、「来年4月の名古屋市会議員選挙を控え、小学校給食の無償化や子どもの医療費無料化18才までの拡大など公約実現に全力を尽くす」と決意を述べました。記者の質問に、江上博之市議は、2022年名古屋城天守閣木造化や、議員報酬問題が引き続き問題になると答えました。

市立正色保育園完成

4月1日、名古屋市立正色保育園が開園しました。正色第1保育園、第2保育園を統合し、名古屋市の直営の保育園としては久しぶりに建設されました。老朽化や新川堤防改修による移転が求められていた旧園の統合で、定員138名です。工事総額は3億3千万円。2階建てで、屋上は、いざという時の緊急避難施設として利用されます。



完成式行われる

4月21日、地域のみならずも参加して完成式が開催され、江上博之市議も来賓として出席しました。

近鉄伏屋駅高架で、万場藤前線貫通

万場小橋から南へ、藤前まで計画されている市道万場藤前線が、近鉄伏屋駅高架に伴って国道1号線まで開通します。今月5月25日（金）午前10時開通予定です。開通により便利になる一方、交通量の増加による安全対策が求められます。

正江橋（仮称）建設進む

万場藤前線の工事は、国道1号線の一色新町三丁目から南へ正江橋（仮称）建設へ続きます。これに伴い両郡橋を歩行者自転車専用橋にする計画が提案されています。江上博之市議は、地域の声を反映した計画を求める、と話しています。

志位委員長が話します

日時 5月16日（水）午後6時半
場所 日比野国際会議場

「命のビザ」杉原千畝の下宿

ヒトラーによる虐殺からユダヤ人の命を救った日本の外交官杉原千畝



ゆかりの土地が中川区五女子にあります。場所は、五女子交差点から南へ約100mほどのアパートの敷地（五女子一丁目8番）で、名古屋市によって銘板が設置されています。

五女子から通学

千畝は、1900年岐阜県で生まれ、愛知県立第五中学校（現・愛知県立瑞陵高等学校）に進学しました。最終年次に親が名古屋を離れ、親戚の縁で敷地にあった借家で下宿生活を送っていたようです。五中までは、約8キロメートルあり、徒歩で2時間近く通ったことになりました。名古屋は、少年期を過ごした居住地の中区から瑞陵高校までを「杉原千畝人道の道」として整備しています。ただ、五女子は離れており、銘板だけで今後の整備は未定ようです。

無料相談（子育て 教育問題も） 毎週月 木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450

5月早朝宣伝

1日	火	下之一色
7日	月	あおなみ線小本
8日	火	JR春田
11日	金	高畑
15日	火	名鉄山王
18日	金	万場小橋
22日	火	近鉄伏屋
25日	金	あおなみ線中島
29日	火	JR尾頭橋
31日	木	あおなみ線荒子
5月3日	朝7時半から8時10分	憲法記念日宣伝
11時	尾頭橋ツルハ前	
11時20分	五女子	